



### コロナ禍における トラブル防止策について

公明党 野村 誠

**問** コロナ禍におけるマスクの着用は、さまざまな課題がある。特に、感覚過敏などや知的障がいの方には大きな問題である。そこでマスクの着用が困難な状態にある方への理解を促すため、意思表示カードやバッジを希望者に配布したらどうか。

**答** 健康福祉部長 国立  
障害者リハビリテーションセンターが昨年7月から8月にかけて行ったアンケート調査の結果によれば、発達に障害がある方の56%が、「我慢してマスクをしている(50%)」、「マスクをすることが難しい(6%)」と回答しています。厚生労働省ホームページでも、発達障害のある方など、障害特性により、マスク着用が困難な方に対する国民の理解を求める旨の案内を行っています。本市でも、こうした問題については認識しており、今後そうしたマスク着用が困難な方がその旨を意思表示できるようなバッジ、キーホルダーなどの物資を速やかに配布していきます。



障害者支援課で配布しているキーホルダー



### ワクチン接種を担う 看護師の労働環境を守れ！

阿部 治正

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種は、派遣看護師に大きく依存して実施される。派遣事業というビジネスモデルは労働条件などを巡って大きな問題を引き起こしてきた。派遣看護師の労働条件や権利を守る責任は委託事業者任せでなく市が負うべきでは。

**答** 健康福祉部長 労働環境も含めて、集団接種会場ですっかりと安全かつ速やかに接種業務が行われているかについて、必ず市の職員が監督員として当日現場に立ち会って、しっかりと管理します。受託事業者には、日によって代表者を選任していただき、何か目につくようなチェック事項があれば、きちんと対応していくということになります。また、毎日の接種業務についての報告を上げてい

ただくことから、自己チェックも含めて行い、きちんと委託する業務が行われているかということを確認してまいります。この監督を行う部署は、健康増進課の新型コロナウイルスワクチン接種担当室です。



### 既存路線バス減便の課題

森田 洋一

**問** 既存路線バス減便で、東初石1丁目、西初石1丁目、加六丁目、流山1丁目在住者には日常生活の足がなく、廃線に近い状態である。市はバス事業者とヒアリングし、現状分析を実施したのか。

**答** まちづくり推進部長  
既存路線バス減便の課題は認識しています。京成バス株式会社へ市民の声を伝え、減便の原因を確認するなど課題の共有を図っています。以前の赤字路線が新型コロナウイルス

拡大で利用者が大幅に減少し、廃止も含め検討した結果、多少の利用者がいる朝夕のみの運行に改正したと同社から確認しています。市としての協力ができるか提案し、増便の働きかけを行いたいと考えています。経済振興部長 流山本町地域内にはランチ時間帯を主として営業している飲食店が多数あり、観光と飲食はセットであることから、路線バスが大幅減便されたことで今後非常に危惧しています。

ナウイルス感染症の感染拡大で利用者が大幅に減少し、廃止も含め検討した結果、多少の利用者がいる朝夕のみの運行に改正したと同社から確認しています。市としての協力ができるか提案し、増便の働きかけを行いたいと考えています。経済振興部長 流山本町地域内にはランチ時間帯を主として営業している飲食店が多数あり、観光と飲食はセットであることから、路線バスが大幅減便されたことで今後非常に危惧しています。



### 受動喫煙対策について

流政会 近藤 美保

**問** 健康増進法の改正で受動喫煙を防止する取り組みは、マナーからルールへと変わった。①市は喫煙率が24%の父親への情報提供をどうするのか。②小学校での啓発予定が2校と少ない。子どもたち

しいが改善できないか。**答** 健康福祉部長 ①母子健康手帳の交付時のみならず、新生児の訪問やこどもには赤ちゃん訪問、乳幼児の健診を面談の機会と捉え、喫煙される父親へ啓発していきたいと考えています。今後とも

父親への啓発方法について、常に改善工夫を検討していきます。②昨年度はコロナ禍の影響で、学校において、歯科医のご協力の下での啓発・研修ができませんでした。今後は教育委員会とも協議し、機会をつくっていきたいと思えます。そうした中で、啓発・研修の回数については医師会のご協力、そして教育委員会とも相談して、増やすこ

とができれば、対応を検討していきたいと考えます。**答** 健康福祉部長 ①県への市内保健所設置の要請については、県の動向を注視してまいります。②平成30年度の本市の順位ですが、医師数は37市中28位、看護師数は25位、病床数は35位、医療施設数は31位です。市長 ③私もそのように考えています。



### 初石施設整備事業 について

流政会 石原 修治

**問** コロナ禍の中、当該事業の先行きが不透明だと考えるが、東武鉄道株式会社との基本協定書はいつ頃締結され、どのような内容になるのか。

**答** まちづくり推進部長  
基本協定は、令和2年度締結に向け最終的な協議を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、協議が進まない状況でした。今年3月になり、東武

内容は、自由通路および駅舎の整備に関し、その位置および範囲、事業主体、財産の帰属や管理、用地の確保のほか、西口駅前への安全対策設備などについて定めます。施工協定の内容は、今後、詳細を協議しますが、スケジュールについては協定に明記していくこととしていきます。

内容は、自由通路および駅舎の整備に関し、その位置および範囲、事業主体、財産の帰属や管理、用地の確保のほか、西口駅前への安全対策設備などについて定めます。施工協定の内容は、今後、詳細を協議しますが、スケジュールについては協定に明記していくこととしていきます。



### 県内最下位クラスの医療体制は 改善・拡充を

日本共産党 小田桐 仙

**問** 「人口20万都市」となった本市で、市内の保健・医療体制の強化策について問う。①保健所を

増設すべきだがどうか。②医師や看護師数、病床数、医療施設数は、県内37市中、何位か。③質も量

も充実すべきではないか。**答** 健康福祉部長 ①県への市内保健所設置の要請については、県の動向を注視してまいります。②平成30年度の本市の順位ですが、医師数は37市中28位、看護師数は25位、病床数は35位、医療施設数は31位です。市長 ③私もそのように考えています。

器の有用性などを助言いただくことは実行したのか。市として適正な情報提供はできているか。**答** 健康福祉部長 身体障害者福祉法に基づく身

は考えていません。省工ネルギー設備への補助金制度など従来から行ってきた事業を引き続き進めていくほか、取り組みやすく、より効果的なものを審議会などで検討を進めていく予定です。市長 やりたいことを段取りもせず目標に掲げて記者会見をして発表しても意味がないと思えます。中身が検討されてない、あるいは化石燃料や原発の再稼働を織り込みながら目標を掲げても私は意味がないと考えます。



### 気候危機から地球を守る 本気の取り組みを

日本共産党 乾 紳一郎

**問** 昨年10月、日本政府は2050年二酸化炭素排出実質ゼロを表明した。流山市も気候非常事態宣言や2050年二酸化炭素排出実質ゼロを表明し、地球温暖化対策条例制定や実行計画の見直しで、脱炭素への取り組みを強化すべきではないか。

**答** 環境部長 市では、具体的かつ実効性のある方法論の実現に向けて、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に示すことに全力で取り組んでいます。気候非常事態宣言の表明や条例化について

具体的かつ実効性のある方法論の実現に向けて、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に示すことに全力で取り組んでいます。気候非常事態宣言の表明や条例化について

具体的かつ実効性のある方法論の実現に向けて、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に示すことに全力で取り組んでいます。気候非常事態宣言の表明や条例化について

議員が草稿を作成した記事において、特定の名詞の表記(「障害者」を「障がい者」と表記するなど)については、議員本人の意向を尊重して掲載しています。そのため、異なる表記が混在することを予めご了承ください。